

平成
30年度

男女共同参画 川柳コンテスト

主夫、イクメンといった男性の家事参加や、夫婦での家事分担、子育てなど「家庭における男女共同参画」をテーマに川柳を募集し、451点(271人)と多く、また9歳から91歳までの幅広い世代からの応募を頂きました。そのうちの入賞作品をご紹介します。

最優秀賞

ありがとう
それより聞きたい
俺やるよ

(前場 智子さん)

〔エピソード〕
結婚している友達と二人で、女性の名も無き家事について話していたところだったので、応募しました。

特別賞

(男女共同参画
審議会会長賞)

明日から
家事をするよと
everyday

(古川 映海さん)

〔エピソード〕
家事を明日からすると毎日言ってる父に皮肉を込めていいました。

優秀賞

「イクメン」が
あるのになぜない
「イクママ」は

(赤瀬 真桜さん)

〔エピソード〕
女性+育児という固定概念があるからこそ、子育てに参加する男性はすごい！とほめられるが、普段仕事に子育てに奮闘するお母さん

入選

ゴミ出しは
家事じゃないよ
まじっすか

(河野 瞳也さん)

父と母
家事を協力
2倍速

(河江 侑季さん)

パパだって
仕事と家事の
二刀流

(篠原 功一さん)

家事をしない
父は覚えぬ
子の食器

(宝田 真耶さん)

手があげば
家事も育児も
ボーダレス

(田所 真実さん)

達をもっといたわって
あげようという気持ち
を川柳にしました。

ママとパパ
見せる背中
は子の未来

(矢野 敬明さん)

〔エピソード〕
家庭平和のコツを詠んでみました。

◀入賞作品展示の様子
(上) ひまわりセンター
(下) 飯山総合学習センター



川柳の入賞作品にも表れているように、家族で家事を分担する「家事シェア」が企業宣伝や雑誌・テレビ番組で特集されるなど、いま注目が高まっています。

民間企業において実施された「家事シェア力全国都道府県ランキング2018」では、香川県35位という結果になっています。そこで、その実態を調査してみました。

「家事シェア」の実態を調査しました!

今回、男女共同参画モデル保育所である金倉保育所にアンケートのご協力をいただきました。

アンケート結果から「家事シェア」について考えてみましょう。

年齢層	男性	女性	合計
20～29歳	4	7	11
30～39歳	22	40	62
40～49歳	13	14	27
合計	39	61	100

(回答数100人、男女比約4:6)



金倉保育所でアンケート結果を報告

ふだん、主に家事をしているのはだれですか

◆掃除、洗濯

【掃除】

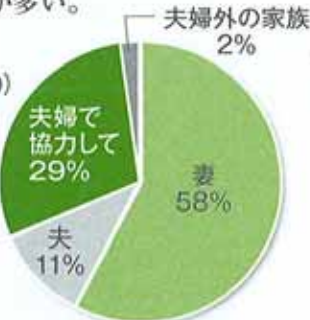
(N=100)



「掃除」「洗濯」については、約6割が「主に妻」が担っているが、「主に夫」と「夫婦で協力して」を合わせると約4割となり、比較的他の家事と比べてシェアしている割合が高い。「掃除」は夫婦共に「時間がない」という人が多い。

【洗濯】

(N=100)



◆子どもの世話・教育

「子どもの世話・教育」は、「夫婦で協力して」が約7割と割合が高い。



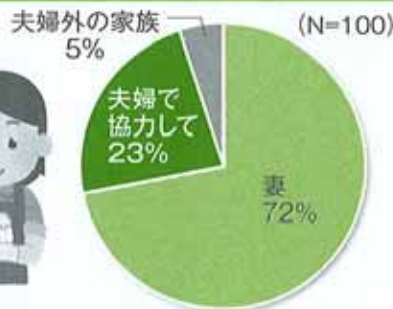
◆家族の介護

「家族の介護」については、8割以上の人々が現在は「該当なし」となっている。



◆料理

「料理」については、「主に妻」約7割と割合が高い。なぜ、という理由について、夫は「スキルがない」という人が多い。妻の中には、「自分でしたいから」という人もいた。



自分がするのは面倒だと思う家事は何ですか

パパママ共に、同じような結果がでました。

「家族の介護」については、「料理」とほぼ同じ数の人が1位に選んでいましたが、8割以上の人々が現在は「該当なし」でしたので、将来に対する不安や、心配する気持ちの表れかもしれません。

1位:料理、家族の介護
3位:掃除 4位:洗濯

最も協力してほしい家事は何ですか

1位の「子どもの世話・教育」に関しては、ママが協力してほしいというのが最も多く、前述の質問では「夫婦で協力して」が約7割だったので、協力し合っているが、より深く子どもに関わってほしいという気持ちの表れかもしれません。2位の「掃除」はパパママ共に協力して欲しいというものが多く、3位の「料理」については、ママが協力してほしいというものが多く。

1位:子どもの世話・教育
2位:掃除 3位:料理



男性の家事・育児関連時間の現状

家事シェアの実態とパパママの思いについて、垣間見ることができたと思いますが、家事シェアをするには、どれくらいの時間が必要なのでしょう。6歳未満のお子さんをもつ家庭における家事・育児関連時間の現状を全国的な統計でご紹介します。

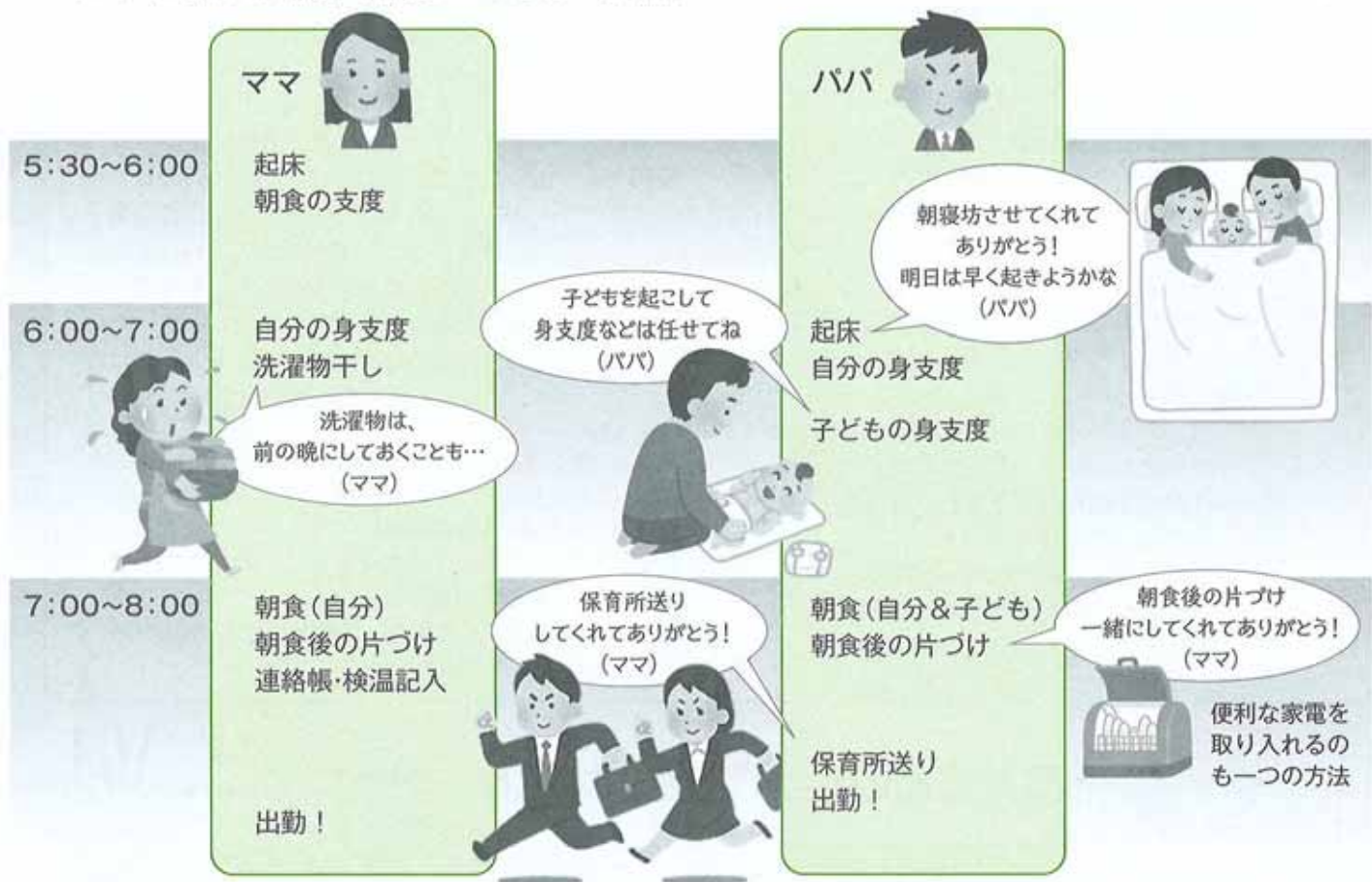
- (備考) 1. 総務省「平成28年社会生活基本調査」より作成。
 2. 家事・育児関連時間(太字の値)は、「家事」「介護・看護」、「育児」、「買い物」の合計(週全体)。
 3. 妻は、上記4つの合計時間のみ表示。



理想の朝の家事スケジュール

男性がもう少し家庭に時間を割けるよう、働き方改革を進める必要はありますが、朝の時間は、そう増やすことができません。そこで、今回のアンケートから、朝の家事スケジュールの一例を作ってみました！

吹き出しにあるのが、アンケートから見えてきた、家事シェアを上手にいただくためのエッセンスです。バタバタする朝の家事は、家族でシェアしたいですね。



いまから始める家事シェアUP。夫婦や家族で話し合ってみませんか？

◆魔法のシート

日々の家事や育児の項目を洗い出し、どのようにシェアし、お互いに支え合うのがよいのかを確認し合うためのコミュニケーションツール「夫婦が本音で話せる魔法のシート〇〇家作戦会議」が平成28年に内閣府で作成されました。

このシートを活用して楽しく真剣に、これからの2人のこと・家族のことを話してみませんか。内閣府男女共同参画局のホームページよりダウンロードできます。

URL <http://www.gender.go.jp/public/sakusenkaigi/>



ヘルスマイト養成講座、皆に聞いてもらいたい

丸亀市食生活改善推進員 ひろあき 田中宏明さん・しよこ 田中昌子さんご夫妻



Q ご夫妻でヘルスマイト^(※)になられたきっかけは

宏明さん：消防団に入っていますが、知り合いの女性団員がヘルスマイトにも入っていて、紹介をされました。地区のまつりでおはぎを作っているということで食べてみると、とてもおいしかった。作り方を是非知りたいという思いもあり、夫婦で養成講座を受けました。

※「私達の健康は私達の手で」をスローガンに地域で食生活活動をしているボランティア団体、丸亀市食生活改善推進協議会の構成員です。ヘルスマイト養成講座修了後に「食改さん」として活動しています。

Q ヘルスマイト活動を通じて役に立っていることは

宏明さん：ヘルスマイトになるために5回の講座を受けたのですが、この講座内容がとても良かったのですが、健康寿命を延ばすために、減塩、歯みがき、軽運動の大切さなどを学んだのですが、そのときの資料は子どもにも見せているし、今も大切に持っています。講座で一番の収穫は歯みがきの大切さを知ったことです。

昌子さん：講座で教えてくれる各講師全員がとても上手で分かりやすく、市民のみなさんにも聞いてもらいたい。強くお勧めします。役に立ったという点では、おはぎ作りですが、これまでかなりの数を作ったので（もち米1升で40個作れるそう）、もはや店で買うものではなくなっています。あと、コミュニティ単位で活動していますが、コミュニティの輪の中に入るとみなさんからよくしてもらえ、とても楽しいですよ。

Q 家庭での家事シェアについて

昌子さん：夫は、包丁研ぎも得意で、知らぬ間にしておいてくれるので、切れ味が良くなると料理も楽しく、「研いでくれて、ありがとう」と感謝も伝えます。食後のベティナイフも研いでくれて、食後のフルーツをカットするのは、夫の担当になっています。人に話すと「すごいね」と言われることがありますが、うちではこれが普通です。

宏明さん：たいしたことはしていないが、言われてからするのは嫌なので、ゴミ捨て、洗濯物干し、皿洗いなど、気づいたら言われる前にするようにしています。あと、家族揃って食事をするのがとても大切だと思っているので、朝晩は必ず子どもたちと一緒に食べ、学校への送り出しは夫婦でしています。

お知らせ

食を通して地域の健康づくりの案内役「ヘルスマイト」になりませんか。

【ヘルスマイト養成講座】

広報6月号にて案内予定です。7月～12月まで毎月1回の講座があります。

問い合わせ 丸亀市 健康課 TEL 24-8806

図書館の紹介（丸亀市立図書館で借りられます）



「お父さんのとっておきごはん」

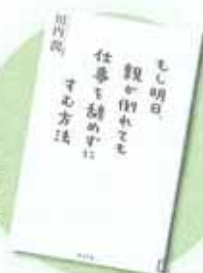
猫元たつや（イースト・プレス）

小さな子どもを持つパパが、家族のために料理の腕を振るうオールカラーのマンガ。ほのぼのとしていて、思わず作ってみようかなと思わせる本です。すべての料理にレシピや写真もついています。

「もし明日、親が倒れても仕事を辞めずにすむ方法」

川内 潤（ポプラ社）

今は、介護のことは身近な問題と感じていない人でも、急に親が倒れたらどうされますか？ 介護の予兆をどう察知するか、どこで誰に相談するかなど、一度実際に考えてみる事ができる本です。



編集後記

今回の特集に
入れられなかったものに「名もなき家事」というものがありました。「丸まったままの靴下をひっくり返す作業」や「玄関で脱ぎっぱなしの靴の片づけ」などなど、小さな作業だけれども、家事をする者にとってストレスは大きく、家族には理解されにくい家事のことで。たとえば小さな作業でも家族みんなで協力し、「助かる」「ありがとう」と感謝の気持ちをきちんと言葉にすることで、家族がお互いを思いやることができるといいですね。（K）